

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年12月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690700010
法人名	社会福祉法人 愛誠会
事業所名	グループホーム 芦穂の里
所在地	鹿児島県奄美市名瀬大字大熊字名浜1309番地3 (電話) 0997-57-7705
自己評価作成日	平成25年10月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年11月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・利用者一人ひとりの意欲や興味、個性を尊重し安心して穏やかにその人らしい暮らしが出来るようにサポートしている。
- ・ホームの立地条件を活かし市内のイベント、各種行事の情報をキャッチし日々の生活を楽しんでいただくよう外出支援を行っている。
- ・ホームの家庭菜園で島料理を栽培し島の家庭料理を提供している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所は水害の心配のない高台にあり、地域の避難場所にもなっている。
- ・地域や自治会の行事などに参加すると共に、小学生との交流や職場体験なども受入れる等、地域との繋がりを積極的に行っている。
- ・職員はホールで利用者に新聞の記事を紹介し、世の中の動きについても話が盛り上がっている。各種のレクリエーションやイベント等の地域の情報を提供し、利用者・職員揃って出かけ、地域や遠方の住民達との関わりを楽しめるよう支援している。
- ・職員同志の連携も強く、利用者との会話やケアなども楽しみながら仕事に励んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域で、その人らしく、毎日を安心して暮らしていただけるようにという想いで作った。	理念は、朝の申し送り時に話し合ったり、毎月のカンファレンス時に理念を唱和している。理念の笑顔を大切に笑顔を引き出せるような声かけなどを重視し理念を共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治体、地域行事（夏祭り、モチモチ踊り、敬老会）に参加していただいている。保育所、小学校の児童と定期的に交流を行っている。	地域の敬老会等の自治会行事への参加や小学生との交流も年間計画に組み込んでいる。母体法人での敬老会に家族や地域住民と参加している。近隣者から野菜や果物の差し入れがあり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ホームに相談に来られた方への話を聴いたり、実際に一緒に過ごして頂きながら、支援の方法も共に考えたり、サポートしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>検討事項や勘案事項について、その結果を報告して、会議のメンバーから率直な意見をもらい、サービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催し、外部評価の結果報告や利用者やサービス提供の状況等を報告している。会議でバーベキュー会の開催の提案があり、家族が集う機会が増えた。意見や助言を運営に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市や市内の事業所が主催する研修会に参加し情報交換や意見交換を行っている。困難な事例については地域包括支援センター、保護課の担当者に助言を頂いている。</p>	<p>管理者は直接市役所へ出向き、事業所の状況や相談を行い、市担当者から助言や意見を聞いている。市主催の研修会にも参加して協力関係を築いている。ホーム便りも届けている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会を実施し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。申し送りやミーティングでケアの振り返りを行い確認している。</p>	<p>「ケア提供時の対応が身体拘束にならないか」との問いを職員全員に投げかけ、研修会を定期的に行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。例えばベットからの転倒リスクが高い利用者の居室に布団を敷き転倒予防を図るなど拘束しない支援の工夫を行っている。日中の施錠は行っていない。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待だけでなくネグレスト、心理的虐待についても理解を深めるよう取り組みを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員に成年後見人制度の説明は行っている。現在、活用しているケースはないが、制度について理解を深め活用できるよう支援していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に重要説明事項に添って説明を行い理解・納得を得ている。又、起こりうるリスク、重度化についての方針、対応についても説明し同意を得るようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議、家族会、バーベキュー会を催し、意見を出せる機会作りや面会時に話せる雰囲気づくりを心掛けている。出された意見はミーティングで話し合い意見を反映させている。	利用者が職員に気軽に思いを言える雰囲気作りを行ったり、家族へは、月1回の家族宛ての手紙を出し意見や要望を聞いている。ケア内容についての相談や受診の相談・利用者の趣味に関する意見等の要望が寄せられ、話し合い運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>利用者の日常のかかわりの中で生まれる職員の気づきやアイデアをミーティングで出し合い反映させている。</p>	<p>職員会議で意見を聞いている。職員の提案で、咀嚼力低下の利用者の対応として支援方法を見直したり、職員が統一したケアに向け話し合いを行うなど、ケアサービスの向上に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行い取得後は本人の意向を重視しながら職場内で活かせる環境づくりをしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修の情報をキャッチし、職員の段階に応じてできるだけ多くの職員が受講できるように計画を立てている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大島地区グループホーム協議会、群島施設連に加入し研修・交流を行っている。計画作成担当者は定期的に事例検討会に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の不安に思っている事、困りごと、要望等に耳を傾けるとともに家族やかかわりある方から過去の生活史や価値観等の情報収集に努め、安心できる環境づくり、かかわり方を模索しながら関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が求めているのを理解し、事業所としてどのような対応が出来るか、事前に話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人やご家族の思い、状況等を確認し必要と思われる支援を考え、他のサービス機関へ繋がるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のできる事できない事のみ着眼するのではなく可能性を引き出し、共に生活する者同士として日常生活の中で教えてもらったり、手伝ってもらったりする関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>運営推進会議や行事に参加して頂き、同じ時間を過ごす事で気持ちを共有できるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>これまでの生活歴や嗜好等の情報収集に努め、少しでも馴染みの関係が継続できるように支援している。</p>	<p>利用者が住んでいた地域に出かけ自宅訪問や墓参りなど利用者の希望を聞き支援を行っている。馴染みの理・美容室の利用や使い慣れた化粧品を行き付けの店に買いに行く等、馴染みの関係が途切れないよう、支援を行っている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>気の合う人同士が気兼ねなく過ごせるように座席をセッティングしている。必要などときには利用者同士の会話が弾むように職員がサポートしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院や他施設入所入所後も訪問を行い、契約終了後もホームに気軽にきていただけるに心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の場面で、想いを引き出すように心掛けている。又、意思疎通の困難な方には、行動や表情などから検討している。	センター方式のシートを活用したり、会話での言葉を記録する等、利用者の思いや希望・意向の把握に努めている。把握が困難な場合も含め、本人はどうしたいのかをカンファレンスの時に整理している。家族からも過去のエピソードを聞き、本人の得意とする場面を作り、利用者が喜んで力を出せる様に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴や暮らしの状況について家族やサービス事業所への聞き取りを行うようにしている。入居後は本人の言葉に耳を傾け家族の面会時に話を聴くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの健康状態・睡眠や排泄パターンを把握し表情や口調、意欲や興味、力量等を把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>カンファレンス、申し送り時に職員全員で意見交換を行い計画作成者1人の視点に偏らないようにしている。又、主治医と定期的に情報交換を行い日常生活上の助言を頂いている。</p>	<p>利用者や家族・職員で話し合いを行い、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回行っている。毎月のアセスメントや状態の変化があった時などは臨機応変に対応している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケース記録は本人の発した言葉を中心にケアの実践・結果・気づきやエピソード、ケアする上で工夫した事等が自由に記録できるスタイルにしており職員で共有しケアに繋げている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>可能な限り入院せずホームで療養ができるように医療機関と連携を取りロケーションダメージを予防する取り組みをしている。面会時間を設定せず早朝や夜間も面会できるように支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>豊かな暮らしが継続できるように地域行事の参加ボランティア、美容師、神父さんの訪問をお願いしている。自治会長、民生委員と情報交換をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族の希望に添い、元々の医療機関に継続して医療支援が受けられるようにしている。他科受診については、紹介状を書いて頂き、適切な医療が受けられるようにしている。</p>	<p>かかりつけ医は、本人や家族の希望する医療機関の受診を支援している。状況によっては協力医療機関で受診している。定期受診は事業所でも対応するが、家族に協力を得ている。緊急時は家族と共に職員も同行し、情報提供をしている。受診結果は家族に報告している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>申し送り等や記録などで報告し、状況に応じて電話連絡を行い異常の早期発見、迅速な対応が出来るようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時に病状の経過、普段の暮らしぶりやケアの留意点など情報提供を行い早期退院に向けてのアプローチを行っている。又、退院には、カンファレンスを行い医療機関より療養上の留意点のアドバイスを頂けるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期のあり方については契約時に家族の意向を聞いた上で、ホームの方針を説明し話し合ってる。</p>	<p>入居時に、事業所の方針は説明しているが、医療的な処置が必要なときには、家族の意向を聞きながら、母体の施設と連携を図り対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の指導の下で、定期的に心肺蘇生・救急法の訓練を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に災害訓練を行っている。地域の方、近隣職員の協力が得られるように働きかけている。</p>	<p>年2回火災・水害・夜間想定 of 訓練を消防署の指導のもと地域住民も参加して実施、自主訓練も年1回実施している。ホットラインで地域の協力が得られるようになっている。災害時の食料や飲料水・オムツなどの備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	援助が必要な時も、まず本人の気持ちを大切に考えて、さり気ないケアを心がけり自己決定しやすい声かけを心掛けている。	プライバシーに関する勉強会を月1回実施、特に着替えの支援、排泄の失敗の時やトイレ誘導などの声かけなど、細心な配慮をしている。職員間で気づいたときはその場で注意し合うなど、プライバシーを損ねない支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者に合わせた声かけ又、意思表示が困難な方には表情を読み取り、繊細なことでも本人が決める場面を作ってる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行きたいところへ外出（自宅やイベント買い物等）したり、本人のサインを読み取り、休憩場面をつくるなど個別対応に努めている。しかし、入浴や行事などスタッフの都合できめていることも少なくない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の馴染みの美容室で希望に合わせたカットや毛染めをしてもらえるよ連携を取っている。本人のこだわってるスタイル（帽子や眼鏡）を把握し、その人らしさを保てるようお手伝いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	調理、盛り付け、後片付けなど利用者個々の力を活かしながら職員と一緒にしている。	利用者と一緒の食材の買い物の時に利用者にも選んでもらい、何を作って欲しいかを聞いたりしている。個々の力量を活かし食材の下拵えやお茶の準備・食後のお盆拭き等、職員と一緒に楽しみながら行っている。差し入れの果物や野菜はテーブルに飾り、観て・触って・味わって楽しむことができるよう支援している。	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	塩分、水分制限、卵アレルギーの方には注意を払い代替食を提供し咀嚼、嚥下の状態により食事形態の工夫、できるだけ自力摂取できるように食器の工夫を行っている。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	毎食後の口腔ケアは一人ひとりの力量に応じて見守り、介助を行っている。定期的に歯科検診を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自尊心に配慮し一人ひとりの排泄パターン、サインを察知できるようにしている。尿意のない方は定期的に誘導し排泄の自立を促している。	日中は布パンツやリハビリパンツを使用、個々の排泄パターンを把握してトイレ誘導や食事・おやつ後にも声をかけ支援している。尿意のない利用者は、食後の声かけやサインを見ながら誘導を行っている。夜間帯はポータブルトイレの蓋を開ける音や鈴を利用する等の工夫で、見守りや排泄等の支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給の徹底を行い便秘対策に取り組んでいる。又、体を動かす事の大切さを常に意識し取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の体調や気分配慮しながら声かけをしている。入浴を拒否される方については、順番や職員を交代する等、工夫している。	週2回の入浴日の他に、毎日入浴希望者への対応や便失禁時や髪をカットした時等、入浴できるよう支援している。入浴をいやがる時は、好みのシャンプーを使ったり、職員が島唄を唄いながら浴室へ誘導する等の工夫を行っている。入浴中は身の上話などの会話が弾むよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるように努めている。又、一人ひとりの体調や表情、希望等を考慮して、ゆっくり休息がとれるように支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬時は本人に手渡し、きちんと服用されているか確認する。薬の処方や用量が変更されたり、本人の状態変化が見られる時は、いつもより詳細な記録をとるようにし、看護職員や協力医療機関との連携が図れるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>得意分野で1人ひとりの力を発揮してもらえよう願いできそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>体調が許す限り、週1回のドライブ等地域に出かけている。又、家族に協力してもらいドライブ等の支援を頂いている。</p>	<p>日常的には多目的テラスに出て、日光浴や会話を楽しみ、外の自然植物を眺めたりする等、戸外の空気を楽しんでいる。新聞の情報や各種イベントの中から決めてお出かけし、利用者みんなで楽しめるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の所持については家族ごとに様々な意向があるので本人の安心や満足に向けて小額でも所持できるように家族に協議している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や友人が電話しやすい雰囲気づくりを行い、本人から希望がある時には電話をかける支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>高齢者にとって懐かしく感じたり、使いやすい物品を置き落착く空間づくりをしている。</p>	<p>ホールは広々として多目的テラスからの日差しが入り、ほど良い明るさがある。片隅に、移動できるソファや畳のベットが置かれ、一休み等できる。また、リハビリ体操やゲーム・レクリエーション等を行っている。通路の壁には、利用者手作りの作品や児童と一緒に写真・交流後のお礼の手紙・利用者の似顔絵などが飾られている。</p>	

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない